

小・中学校の医療費 が現物給付に

松浦市では、今年の10月

から小・中学生の医療費が現物給付化となりました。これまで、医療機関に掛かったら、その領収書を持って市役所・支所に向いて払い戻しを受けなければならなかったのですが、その手間がかからなくなりしました。1か月1医療機関ごとに1日800円、(2日以上受診の時は上限1600円)を超える医

療費についての助成です。

子どもが急に病気になっても、取り敢えず800円あれば医療機関に駆け付けられます。長崎県内及び伊万里市・唐津市の医療機関等でのこの制度が使えます。松浦市での子育てに安心材料が一つ増えました。子どものインフルエンザ予防接種も18歳までは自己負担1000円で接種が受けられるようになってい



ます。これは、保護者の強い要望が実ったものです。

ただ一つ、学校給食費については、給食費の減免制度が無くなったことが残念です。これまで、松浦市では、学校給食費を第2子以降は半額に減額してきてい

ました。全国の自治体では学校給食費を無償化とする流れがある中で、逆行するものです。ただ、予防接種の助成制度を作る時に、その財源を確保するために学校給食費の減免制度をなくしてしまいました。これではせっかく良いことをしても何にもなりません。今ある子育て支援を後退させないで新しい支援制度を作っていくので、子育て支援が県下で一番の市になるのではないのでしょうか。

9月定例会で予算がつきました

- 図書購入事業……………800万円
- *学校図書購入費……………600万円
- *図書館図書購入費……………200万円
- 水中遺跡調査パイロット事業……………505万2千円
- 『電力・ガス・食料品等価格高騰対策重点事業』
- *農業生産資材価格高騰対策事業……………991万5千円
- *船底清掃支援事業……………541万2千円
- *漁業生産資材価格高騰対策事業……………549万6千円

日本政府に核兵器禁止条約に 署名・批准を求めましょう

議員提案の「核兵器禁止

条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書」が9月議会定例会最終日に提出され、賛成多数で可決されました。今回の議員提案「核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果

たすことを求める意見書」

に、核兵器禁止条約に早期に署名・批准すること。まずは、本年11月開催される第2回締約国会議にオブザーバーとして参加すること。とあります。

我が国は世界唯一の被爆国であり、被爆地長崎・広

島の惨禍を二度と繰り返してはいけません。しかしながら、日本政府はまだ核兵器禁止条約参加、署名・批准していません。松浦市は平成18年6月21日に『非核平和の都市』と宣言をしています。『非核平和の都市』と宣言をしている松浦市です。日本に核兵器禁止条約に署名・批准することを正面から要求していただく必要があるのであれば、ぜひ声をあげてください。



イスラエルは
ガザ攻撃を
直ちにやめよ